

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-08 □支援部門		河川管理運営事業							
主管課	道水路管理課		関連課							
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	市民参加型で、より地域に則した整備と管理									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考					
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	1,488	1,488	3,653						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	1,488	1,488	3,653						
	人員配置数	0.4	0.4	0.4						
	人件費(千円)	3,514	3,640	3,608						
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	5,002	5,128	7,261						
	市民1人当 りの経費(円)	28	29	41						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
河川管理運営事業	1,488千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	良好な河川管理事業の円滑な推進を図る								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	河川の維持管理活動を委嘱している維持管理協力団体の継続。				
課題解決のための取組	団体が抱えている問題に対応した。				
未解決の課題	特になし。				
今後の方針	当面は、現状を維持していく一方で、維持管理協力団体の加入を増やしていく方向も視野に入れる。				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名 道水路管理課長 稲葉 一男

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
河川管理運営事業	335	河川維持管理協力団体報償費	240	240	■適切 □見直し余地あり
	335	浸水対策排水施設用地土地賃借料	1,229	1,229	□適切 ■見直し余地あり
	主な個別事業				
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり